



MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY

2006年3月期 第3四半期決算

2006年2月7日

本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。

第3四半期決算概要

引き続き需要旺盛、予定を上回る業績

- 売上高 前年度比 18.7%増加
- 営業利益 前年度比 70.9%増加
- 受注は高原で推移
- 期末見込みも上方修正
- 配当大幅増
- Mori-568PLANは好スタート

売上計上基準の変更の影響

2006年3月期より、国内における機械本体の売上計上基準を従来の出荷基準から、検収基準に変更しております。

	新会計方針 2006年3月期より	旧会計方針
収益認識基準	検収基準	出荷基準
各基準による 当中間期の実績	売上高 : 101,741百万円 営業利益 : 10,232百万円 棚卸資産 : 27,682百万円	売上高 : 104,453百万円 営業利益 : 11,094百万円 棚卸資産 : 25,868百万円

- 売上高への影響 : 2,712百万円の減少要因
- 営業利益への影響 : 862百万円の減少要因
- 棚卸資産への影響 : 1,814百万円の増加要因
- 変更の理由 : 売上計上基準をより客観性、确实性のある検収基準に変更することにより、出荷から検収に至る管理をより厳密に行い、より一層の品質向上を目指すもの。

順調に利益を上乗せ

損益計算書(連結)

(百万円)	2005/3期 第3四半期	2006年3月期 第3四半期					
	旧会計方針	新会計方針			旧会計方針		
	第3四半期実績	第3四半期 実績	前年比	前年比率	第3四半期 実績	前年比	前年比率
売上高	85,726	101,741	16,015	118.7%	104,453	18,727	121.8%
営業利益	5,986	10,232	4,246	170.9%	11,094	5,108	185.3%
(売上高比率)	7.0%	10.1%	3.1%		10.6%		
経常利益	6,091	10,136	4,045	166.4%	10,998	4,907	180.6%
(売上高比率)	7.1%	10.0%	2.9%		10.5%		
税引前利益	5,603	9,859	4,256	176.0%	10,721	5,118	191.3%
当期利益	5,291	8,935	3,644	168.9%	—	—	—
(換算レート 1US\$=)	(JPY108.37)	(JPY112.85)			(JPY112.85)		
(1EURO=)	(JPY135.07)	(JPY137.18)			(JPY137.18)		

好財務を堅持

主要貸借対照表増減(連結)

(百万円)	2005年3月期 第3四半期	2005年3月期		2006年3月期 中間期		2006年3月期 第三四半期	
	2004年12月31日	2005年3月31日	12月比増減	2005年9月30日	3月比増減	2005年12月31日	9月比増減
資産の部							
流動資産	63,947	63,699	-248	80,151	16,452	86,572	6,421
現金預金	12,772	12,775	3	25,955	13,180	30,763	4,808
売掛債権	24,814	27,765	2,951	25,987	-1,778	24,464	-1,523
在庫	23,047	21,069	-1,978	25,877	4,808	27,682	1,805
その他	3,313	2,088	-1,225	2,330	242	3,661	1,331
固定資産	67,814	71,931	4,117	69,575	-2,356	71,780	2,205
建物・構築物	26,915	26,972	57	25,553	-1,419	25,320	-233
機械・設備	5,974	7,633	1,659	5,984	-1,649	5,870	-114
土地	21,158	21,672	514	20,921	-751	20,987	66
無形固定資産	2,917	2,704	-213	2,200	-504	2,411	211
その他固定資産	10,848	12,947	2,099	14,915	1,968	17,188	2,273
資産の合計	131,762	135,631	3,869	149,727	14,096	158,353	8,626
(換算レート 1US\$=)	(JPY104.20)	(JPY107.32)		(JPY113.21)		(JPY118.07)	
(1EURO=)	(JPY141.66)	(JPY138.75)		(JPY136.15)		(JPY139.82)	

好財務を堅持

主要貸借対照表増減(連結)

(百万円)	2005年3月期 第3四半期	2005年3月期		2006年3月期 中間期		2006年3月期 第三四半期	
	2004年12月31日	2005年3月31日	12月比増減	2005年9月30日	3月比増減	2005年12月31日	9月比増減
負債・資本の部							
流動負債	21,565	22,742	1,177	22,645	-97	22,802	157
買掛金	7,521	8,199	678	8,650	451	8,131	-519
短期借入金	1,370	1,370	0	1,320	-50	1,320	0
一年以内返済長期借入金	5,084	5,084	0	5,084	0	5,084	0
その他流動負債	7,587	8,089	502	7,591	-498	8,267	676
固定負債	18,362	16,290	-2,072	26,059	9,769	26,785	726
新株予約権付社債	0	0	0	11,500	11,500	11,500	0
長期借入金	15,229	12,708	-2,521	10,166	-2,542	10,145	-21
その他固定負債	3,133	3,582	449	4,393	811	5,140	747
少数株主持分	98	156	58	201	45	210	9
資本合計	91,735	96,442	4,707	100,821	4,379	108,555	7,734
負債・資本の部合計	131,762	135,631	3,869	149,727	14,096	158,353	8,626
(換算レート 1US\$=)	(JPY104.20)	(JPY107.32)		(JPY113.21)		(JPY118.07)	
(1EURO=)	(JPY141.66)	(JPY138.75)		(JPY136.15)		(JPY139.82)	

資産効率の改善

回転期間・自己資本比率推移(連結)

(月数/%)	2005年3月期 第3四半期	2005年3月期		2006年3月期 中間期		2006年3月期 第3四半期	
	2004年12月	2005年3月	12月比増減	2005年9月	3月比増減	2005年12月	9月比増減
売上債権回転期間	2.61ヶ月	2.73ヶ月	+0.12ヶ月	2.36ヶ月	-0.37ヶ月	2.16ヶ月	-0.20ヶ月
棚卸資産回転期間	2.42ヶ月	2.07ヶ月	-0.35ヶ月	2.35ヶ月	+0.28ヶ月	2.45ヶ月	+0.10ヶ月
仕入債務回転期間	0.79ヶ月	0.81ヶ月	+0.02ヶ月	0.79ヶ月	-0.02ヶ月	0.72ヶ月	-0.07ヶ月
固定資産回転期間(有形)	6.07ヶ月	5.88ヶ月	-0.19ヶ月	5.07ヶ月	-0.81ヶ月	4.93ヶ月	-0.14ヶ月
株主資本比率	69.6%	71.1%	+1.5%	67.4%	-3.7%	68.6%	+1.2%

売上債権回転期間、仕入債務回転期間、有形固定資産回転期間が良化
株主資本比率は、中間期より1.2%改善。

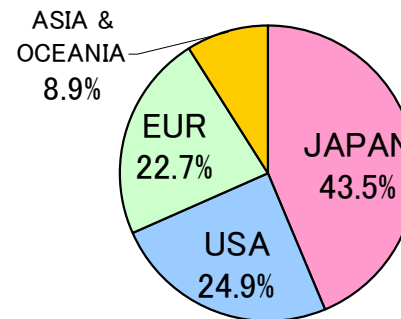
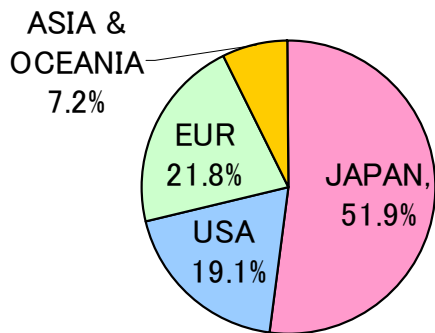
偏りの無い売上構成

地域別売上高・比率

(百万円)		JAPAN	USA	EUR	ASIA & OCEANIA	合計
	2006年3月期 第3四半期	44,247	25,376	23,077	9,041	101,741
売上高	2005年3月期 第3四半期	44,473	16,406	18,655	6,193	85,727
	増減率	-0.5%	+54.7%	+23.7%	+46.0%	+18.7%

2005年3月期 第3四半期

2006年3月期 第3四半期



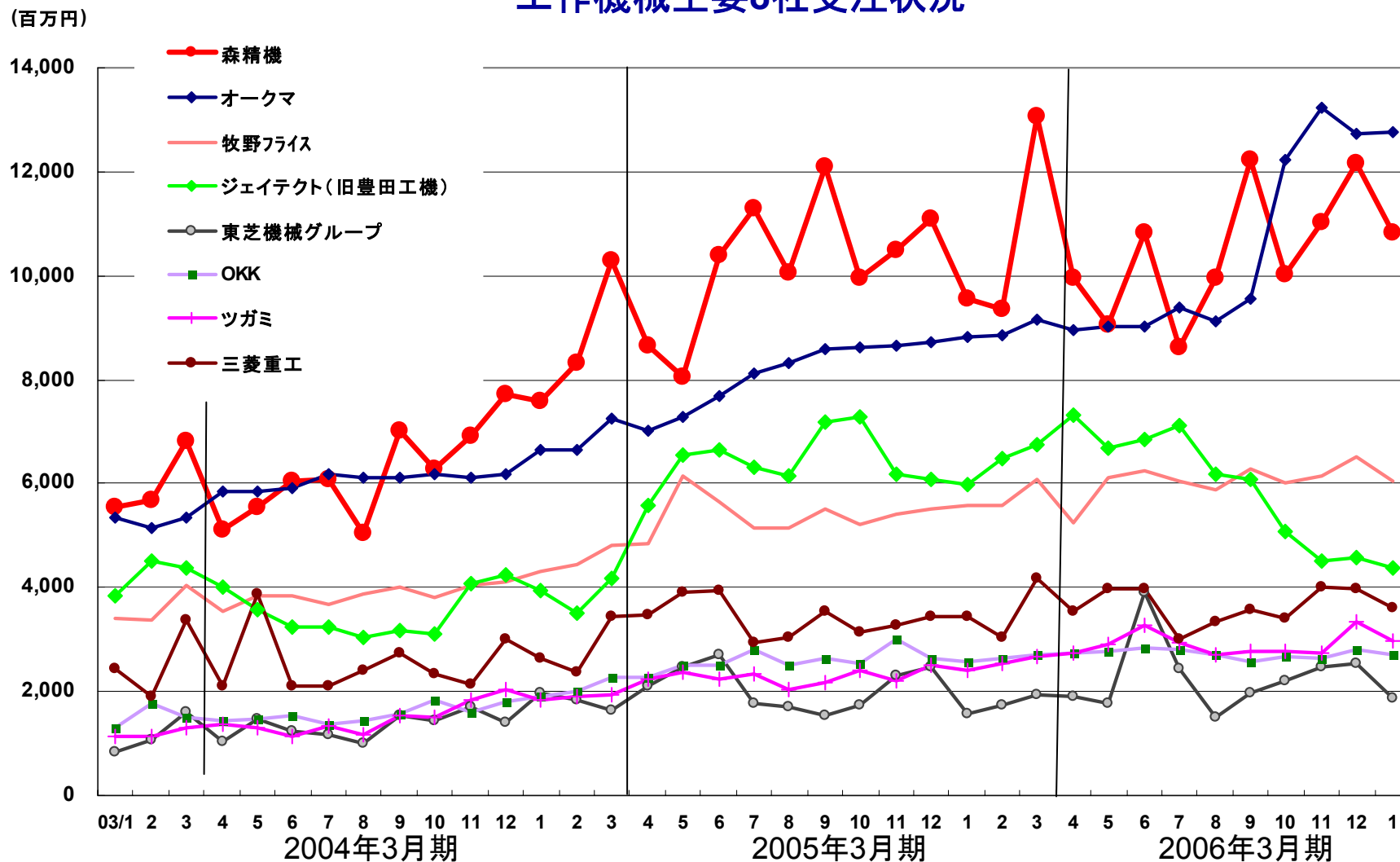
日本国内の売上高は、下記①、②の基準変更の影響5,606百万円を受けており減収であるが、影響を除いた実質は、前年度比+12.1%の増収。

①売上計上基準の出荷から検収への変更の影響2,712百万円。

②国内販売分海外据付分を今期より海外売上として計上した影響2,894百万円。

受注は相変わらず高水準

工作機械主要8社受注状況





Mori-568PLANの達成で グローバルワンへ

中期計画進捗状況

		2004年度 年間実績	2005年度目標	中間期	第3四半期	2005年4月～ 2005年12月 平均
Mori-5	売上高（億円）	101.80/月	112.50/月	110.07	118.99	113.04
	売上シェア （VS 3兆5千億円）	3.5%	4%	3.8%	4.1%	3.9%
Mori-6	連結売上原価率（%）	66.1%	64.0%	62.5%	60.5%	61.8%
Mori-8	月あたり生産台数（台）	532.5	608	598	585	591

Mori-5、Mori-6は年度目標水準を達成。Mori-8も達成可能な水準。



下期、通期業績の見通し

通期業績予想上方修正

- 売上高 1,410億円
- 営業利益 145億円
- 需要多く、受注残が相当額あり
- Mori-568PLANの見通しも良好
施策の成果が見込まれる
- 配当金の大幅増



引続き増収・増益を見込む

2006年3月期通期 連結業績予想

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期	
	通期実績	第3四半期実績	通期予想
	金額	金額	金額 対前年比
売上高	122,166	101,741	141,000 15.4%
営業利益	10,517	10,232	14,500 37.9%
経常利益	10,504	10,136	14,200 35.2%
税引前利益	10,004	9,859	- -
当期利益	9,381	8,935	12,500 33.2%
(換算レート 1US\$=)	(JPY107.58)	(JPY112.85)	(JPY107.00)
(1EURO=)	(JPY135.68)	(JPY137.18)	(JPY128.00)

今期 既に発表した新機種

- NVD1500 DCG (2005年4月、高精度小型立形MC)
- NTシリーズ (2005年9月、複合加工機 計9機種)
- VS8000・VS10000 (2005年11月、門形立MC)
- NZ-S1500 (2005年12月、シャフト加工機)
- NL3000/2000・NL3000/3000 (2006年1月、大型ベッド旋盤)



計15機種発表

Nシリーズは現在29機種に
(Nシリーズ以外の生産機種は148機種)

Nシリーズのラインナップが充実

NTシリーズ

2005年日経優秀製品・サービス賞
最優秀賞 日本経済新聞賞 受賞

高品質・高性能な生産財を提供することで、日本のものづくりを応援したい。
その想いを込めて開発した、究極の複合加工機「NT シリーズ」が、
「2005年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日本経済新聞賞」を受賞いたしました。

同時受賞製品

- ◇高級車ブランド レクサス (トヨタ自動車)
- ◇iPod (アップルコンピュータ)
- ◇プリンター PIXUS (キャノン)
- ◇大型画面液晶テレビ アクオス (シャープ)
- ◇プラズマテレビ ビエラ (松下電器産業)



2005年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日本経済新聞賞 受賞



スポンサー付ADR –Level1–

米国でも森精機の株式を簡単に購入することができるようになりました。

○メリット

- (1) 米国の機関投資家がドル建てで当社株を購入可能に。
- (2) 当社にとっても、過大な負担無し。
 - ① 見込み維持費用は1～3百万円／年と低額。
 - ② 当社のADRはレベル1であり、開示は日本での開示範囲とほぼ同様であり、追加的開示作業負担が殆ど無く、米国会計基準の適用もなし。

MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY

